

がん患者の支援を行っています

がん相談支援センターをご利用ください

市内がん拠点病院にある「がん相談支援センター」では、がんに関する看護師やソーシャルワーカーなどが、治療や副作用、治療後の療養生活やお金・仕事の心配などさまざまな相談を受け付けています。

相談は面談や電話で、無料で行っています。内容が他の人に知られることもありません。疑問や不安を感じたときは、一人で悩まず、まずは相談ください。

働きながら治療はできるのかしら。お金のことも心配...

医師の説明が難しく分からない。質問もうまく伝えられない...

どんな治療が始まるのだろう。副作用もとても心配...

家族としてどう接したらよいか分からない...

患者や家族のほか、どなたでも相談できます。

相談窓口(がん相談支援センター)

- 北九州市立医療センター…☎541・1831(代表)
- 産業医科大学病院 ……☎691・7162(直通)
- JCHO九州病院 ……☎641・9715(直通)
- 戸畑共立病院 ……☎871・5421(代表)
- 九州労災病院 ……☎471・1121(代表)

※上記の病院で治療を受けていなくても相談できます。

担難病相談支援センター☎522・8763

がん患者の医療用ウィッグなどの購入費を助成します

がん治療に伴う外見の変化に対応するために購入した医療用ウィッグや補整具などの費用の半額を助成します。申請方法など詳しくは問を。

- 上限額：医療用ウィッグなどは2万円。補整具などは1万円。
- 対象：がんの治療を受けているか、過去に受けた人が購入したもの。

男性用トイレのサンタリーボックスの設置を進めています

前立腺がんや膀胱がんの後遺症などで、尿漏れパッドやおむつを使用する人が安心して外出できるように、市役所・各区役所、市民センターなどでは、男性用トイレにサンタリーボックス(トイレの個室に設置する小さなごみ箱)を設置しています。



問 保健福祉局総務課 ☎582・2497

市制60周年 北九州市 CITY OF KITAKYUSHU **みらいつなぐ北九州 60th**

今から60年前の昭和38年(1963年)2月10日、門司市、小倉市、若松市、八幡市、戸畑市の五つの街が対等合併して、九州初の100万都市「北九州市」が誕生しました。

市の名前はどやって決まった!?

市の名前を全国に募集し、約13万7000通の応募がありました。一番多かった名前は、「西京市」で約1万2100通、次いで「北九州市」の約6600通。他にも「北九市」「昭和市」「豊市」「関門市」「豊栄市」「九州門市」「九州市」といったものがありました。最終的には、北九州五市合併促進協議会で「呼び慣れていて、身近に感じる」などの理由から「北九州市」に決まりました。

市制60周年を記念して、北九州市が誕生してからこれまで、市民の皆さんと歩んできた歴史を振り返ります。

担企画調整局総務課 ☎582・2440



▲戸畑文化ホールで開催された北九州市開庁式



門司市 昭和26年の「門司みなと祭」でにぎわう桟橋通り



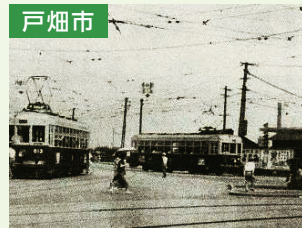
小倉市 昭和25年頃の現・魚町銀天街



若松市 昭和36年の海岸通りと「若松みなと祭り」でのカッターレース



八幡市 昭和37年の中央区広場



戸畑市 昭和30年頃の幸町電停付近



▲市制60周年特設サイト

出典:北九州思い出写真館